J-SPEED健康チェック　操作手順書（自治体 健康管理担当者向け）

□にチェックを入れながら進めてください。

1. 支援チームシステム担当者へ機構図/部局名称一覧を提供

☐ 自治体の機構図/部局名称一覧を支援チームシステム担当者へ提供する

2. 職員への周知

☐ 職員へJ-SPEED健康チェックについて周知・入力の呼びかけを行う

＜メール送信文例・ポスター掲示等＞

件名：【重要】健康チェック開始のお知らせ

職員各位

災害対応にご尽力、誠にお疲れ様です。

このたび、〇〇自治体では、職員の体調管理を目的とした健康チェックの運用を以下のとおり開始いたします。

簡便な入力形式で、日々の体調変化を把握できるよう設計しておりますので、ご協力をお願いいたします。

■開始日：〇月〇日（〇）より
■対象：本メールを受信した全ての行政職員
■方法：添付手順書の通り

健康状態に異変が見られた場合には、産業医科大学の災害産業保健支援チームが確認・フォローいたします。

この危機を乗り切っていくためには、あなたの健康を守ることが必要です。ご協力をよろしくお願いいたします。

――――――――――――――――――
〇〇市 健康管理担当
担当：〇〇（内線：1234）
Email：health@city.xxx.lg.jp

3. 集計報告書の受け取り・共有

☐ 支援チームからメール・電話で報告を受け、組織内へ共有する。

1. 支援チームより、統合集計報告書を受け取る。
   （支援チームは県全体、自治体ごと、部署ごとの報告書を提供可能）
2. 自治体内の必要な報告先に報告書を提供する。
3. 必要に応じて対応を調整する。

※集計報告書の結果からの対応例

- 個別の対応
  - 体調不良者や緊急対応が必要な事例などの有無を把握
  - 必要に応じて産業保健の専門家による職員健康管理サポートを実施
  - 必要に応じて職場上司と連携して疲弊職員の業務軽減・交代・休養等を調整
- 組織の対応
  - 保健医療福祉調整本部・災害対策本部等の関係会議への資料挿入
  - 課題認識の関係者共有（外部支援者からの指摘と呼びかけが重要）
  - 会議回数を減らす根拠に（隔日開催など）
  - 部署ごとの業務配分の見直しや、勤務体制（シフト・休憩等）の改善提案
  - 首長等トップによる理解の促進
  - メディアを通じた発信（亜急性期以降に）

お問い合わせ先
● システム担当（広島大学公衆衛生学　J-SPEED解析支援チーム）村山090-6979-7362 永田090-9791-6285
● 産業保健担当（産業医科大学 災害産業保健センター　DOHAT）立石093-691-7180